

第1回日本服薬支援研究会/
第13回簡易懸濁法研究会 総会

資 料

日時:2019年9月28日(土) 18:15～19:00

場所:北里大学薬学部 1号館1501講義室

東京都港区白金5-9-1

第1回日本服薬支援研究会/第13回簡易懸濁法研究会 総会 式次第

【総会式次第】

北里大学薬学部 18:15～19:00

総合司会 近藤幹事

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. 開会の辞 | 篠原幹事(大会長) |
| 2. 代 表 挨 拶 | 倉田代表幹事 |
| 3. 議 事 | |
| ア. 議 長 | 倉田代表幹事 |
| イ. 報 告 事 項 | |
| 研究会名称変更について | 倉田代表幹事 |
| 事業報告 | 新井幹事 |
| 会計報告 | 安藤幹事 |
| 会計監査報告 | 世良幹事 |
| 組 織 | 世良幹事 |
| ウ. 議 案 | |
| 2019年度事業計画案 | 新井幹事 |
| 2019年度事業予算案 | 安藤幹事 |
| 簡易懸濁法研究会 組織案 | 世良幹事 |
| その他 | |
| 4. 簡易懸濁可否情報共有システム新規登録者 表彰 | 世良幹事 |
| 5. 閉会の辞 | 石田幹事 |

平成 30 年度(2018 年度) 簡易懸濁法研究会 事業報告

I) 簡易懸濁法研究会名称変更

- 1) 研究会名称 「日本服薬支援研究会」
「The Japan Association for Patient Support on Medication」
- 2) 研究会目的 本会は患者またはその看護に当たっている家族及び医療従事者に対する服薬支援を中心に、摂食・嚥下障害、運動障害、健康寿命、小児、高齢者、がんケア、医療安全等の分野において、薬を安全かつ効果的に投与することに関して研究し、その成果を普及させる。そして、患者の医薬品及び医療を主とした生活全般を支援することにより QOL の向上に寄与することを目的とする。
- 3) 部会の設置 摂食嚥下障害、運動障害、健康長寿(未病・予防)、がんケア、医療安全、小児
- 4) 会計年度 毎年 7 月 1 日から 6 月 30 日まで
- 5) 施行 2019 年 6 月 1 日
- 6) HP の移行 2019 年 9 月 27 日

II) 簡易懸濁法認定制度

- 2019 年 1 月までの認定薬剤師 34 名
- ・平成 30 年度 11 名
 - ・平成 29 年度 6 名
 - ・平成 28 年度 13 名
 - ・平成 27 年度 4 名

III) 簡易懸濁法研究会会誌

平成 30 年 6 月に Vol.6, No.1 を 12 月に No.2 を発行

IV) 講演会・実技セミナー関係

日時: 2018 年 4 月～2019 年 6 月

<研究会主催大会・総会>

- 1) 第 12 回簡易懸濁法研究会総会・講演会・ポスター発表・実技セミナー

日時: 2018 年 8 月 18 日、19 日

場所: 東北医科薬科大学 中央棟 3 階講義室他(宮城県仙台市)

内容: 高齢者の身体能力に合わせた服薬支援と製剤の知識 他

- 2) 第 9 回 簡易懸濁法研究会 実技セミナー in 米子

日時: 2018 年 11 月 9 日(金) 18:00～21:30

場所: 国際ファミリープラザ 3 階研修室(鳥取県米子市)

3)第 10 回簡易懸濁法実技セミナー in 神戸

日時:2019 年 2 月 24 日(日)10:30～16:30(受付:10:00～)

場所:兵庫医療大学 M 棟 M114 講義室、M207 実習室(兵庫県神戸市)

<研究会共催、後援>

講演 26 回

講演+実技セミナー 41 回

※内容の詳細は、研究会 HP の行事予定を御参照下さい。

V)簡易懸濁可否情報共有システム

簡易懸濁法可否の新規データーの登録(新規登録多数の会員を総会で表彰)

平成30年度 簡易懸濁法研究会 収支中間報告書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

【収入の部】

(単位:円)

大科目	勘定科目		平成30年度 予 算 額	平成30年度 決 算 額	差 異	摘 要
		小科目				
会費収入			4,659,000	4,931,000	272,000	
		正 会 員 会 費	3,355,000	3,625,000	270,000	5,000円×725件(当該年度648件、前年度68件、前受金9件)
		学生会員会費	4,000	6,000	2,000	2,000円×3件(当該年度3件)
		賛助会員会費	1,300,000	1,300,000		0 50,000円×26口(当該年度25口、前年度1口)
事業収入			2,674,500	2,565,000	-109,500	
		講演会費	264,500	196,000	-68,500	講演会参加費(非会員500円×20)、懇親会参加費(会員5000円×36、非会員6000円×1)
		実技研修会費	2,310,000	2,299,000	-11,000	主催セミナー(仙台):会員3000円×35名、非会員5000円×68名、大学向け会員3000円×1名、大学向け非会員5000円×3名、企業向け会員10000円×5社、企業向け非会員30000円×8社、昼食代1000円×82件
						主催セミナー(神戸):会員4000円×16名、非会員6000円×23名 主催セミナー(米子):会員2000円×1名・認定単位発行会員3000円×7名、非会員4000円×8名・認定単位発行非会員5000円×7名 共催セミナー(全国):認定単位発行会員3000円×13名、認定単位発行非会員5000円×29名、資料代500円×1976名分
			100,000	70,000	-30,000	認定薬剤師申請料 5000円×14名
その他収入			0	0	0	
		当期収入合計(A)	7,333,500	7,496,000	162,500	
		前期繰越収支差額	4,824,452	4,827,152	2,700	
		収入合計(B)	12,157,952	12,323,152	165,200	

【支出の部】

(単位:円)

大科目	勘定科目		平成30年度 予 算 額	平成30年度 決 算 額	差 異	摘 要
		小科目				
事業費支出			3,840,200	3,923,751	83,551	
	講演会費		503,000	521,854	18,854	講師謝礼・旅費、労務提供者謝金、懇親会費、研修シール
	実技研修会費		2,898,000	3,064,000	166,000	主催セミナー旅費、謝金、セミナー昼食代、会場費、資料代(実験器具・医薬品費)、研修シール、共催セミナー資料代(全国):500円×2,375名分
	認定事業費		180,000	78,697	-101,303	認定審査会交通費・日当、会議飲食費、認定証発行費用
	簡易懸濁可否情報 共有システム保守費		259,200	259,200	0	月額21,600円(12ヶ月分)
管理費支出			3,290,600	3,323,913	33,313	
	総会・幹事会・委員会費		536,000	522,984	-13,016	幹事会(2回):旅費等、ミニ幹事会(5回):会議飲食費
	事務消耗品費		445,000	380,477	-64,523	会報発行(年2回・製本仕様)、コピー代、文具代
	通信費		229,600	359,948	130,348	後納郵便代、宅急便代、メール便代、切手代
	人件費		1,750,000	1,640,277	-109,723	毎日学術フォーラム事務委託料、作業委託料
	租税公課		60,000	97,209	37,209	源泉税
	原稿料		120,000	78,000	-42,000	学会参加レポーター(2回、3名)、原稿執筆料
	雑費		150,000	245,018	95,018	振込手数料、Peatix手数料、共有システム登録表彰費、東北医科薬科大・北里大視察費用
予備費支出	予備費		200,000	0	-200,000	
その他支出			0	0		
当期支出合計(C)			7,330,800	7,247,664	-83,136	
当期収支差額(A)-(C)			2,700	248,336	245,636	
次期繰越収支差額(B)-(C)			4,827,152	5,075,488	248,336	

平成30年度 簡易懸濁法研究会 収支報告書

(平成30年4月1日～令和元年6月30日)

(単位:円)

【収入の部】

大科目	勘定科目		平成30年度 予 算 額	平成30年度 決 算 額	差 異	摘 要
		小科目				
会費収入			4,659,000	5,081,000	422,000	
	正 会 員 会 費		3,355,000	3,775,000	420,000	5,000円×755件(当該年度669件、前年度68件、前受金18件)
	学生会員会費		4,000	6,000	2,000	2,000円×3件(当該年度3件)
	賛助会員会費		1,300,000	1,300,000	0	50,000円×26口(当該年度25口、前年度1口)
事業収入			2,674,500	2,921,500	247,000	
	講演会費		264,500	196,000	-68,500	講演会参加費(非会員500円×20)、懇親会参加費(会員5000円×36、非会員6000円×1)
	実技研修会費		2,310,000	2,655,500	345,500	主催セミナー(仙台):会員3000円×35名、非会員5000円×68名、大学向け会員3000円×1名、大学向け非会員5000円×3名、企業向け会員10000円×5社、企業向け非会員30000円×8社、昼食代1000円×82件
						主催セミナー(神戸):会員4000円×16名、非会員6000円×23名 主催セミナー(米子):会員2000円×1名・認定単位発行会員3000円×7名、非会員4000円×8名・認定単位発行非会員5000円×7名 共催セミナー(全国):認定単位発行会員3000円×14名、認定単位発行非会員5000円×31名、資料代500円×2,590名分
その他収入	認定事業費		100,000	70,000	-30,000	認定薬剤師申請料 5000円×14名
			0	0	0	
	当期収入合計(A)		7,333,500	8,002,500	669,000	
	前期繰越収支差額		4,824,452	4,824,452	0	
収入合計(B)			12,157,952	12,826,952	669,000	

【支出の部】

勘定科目		平成30年度 予 算 額	平成30年度 決 算 額	差 異	摘 要
大科目	小科目				
事業費支出		3,840,200	4,296,631	456,431	
	講演会費	503,000	521,854	18,854	講師謝礼・旅費、労務提供者謝金、懇親会費、研修シール
	実技研修会費	2,898,000	3,372,080	474,080	主催セミナー旅費、謝金、セミナー屋食代、会場費、資料代(実験器具・医薬品費)、研修シール、共催セミナー資料代(全国)：500円×2,989名分
	認定事業費	180,000	78,697	-101,303	認定審査会交通費・日当、会議飲食費、認定証発行費用
	簡易懸調可否情報 共有システム保守費	259,200	324,000	64,800	月額21,600円(12+3ヶ月分)
管理費支出		3,290,600	3,768,034	477,434	
	総会・幹事会・委員会費	536,000	892,500	356,500	幹事会(3回)：旅費等、ミニ幹事会(5回)：会議飲食費
	事務消耗品費	445,000	395,618	-49,382	会報発行(年2回)・製本仕様、コピー代、文具代
	通信費	229,600	362,898	133,298	後納郵便代、宅急便代、メール便代、切手代
	人件費	1,750,000	1,676,457	-73,543	毎日学術フォーラム事務委託料、作業委託料
	租税公課	60,000	97,209	37,209	源泉税
	原稿料	120,000	78,000	-42,000	学会参加レポーター(2回、3名)、原稿執筆料
	雑費	150,000	265,352	115,352	振込手数料、Peatix手数料、共有システム登録表彰費、東北医科薬科大・北里大視察費用
	予備費	200,000	0	-200,000	
	その他支出	0	0	0	
当期支出合計(C)		7,330,800	8,064,665	733,865	
当期収支差額(A)－(C)		2,700	-62,165	-64,865	
次期繰越収支差額(B)－(C)		4,827,152	4,762,287	-64,865	

上記収支報告書について監査した結果、適当と認めます。

2019 年 8 月 30 日
監 査 人 座間味 義人
会計監事



第 1 回日本服薬支援研究会/第 13 回簡易懸濁法研究会 総会
議 案

1. 2019年度事業計画案
2. 2019年度事業予算案
3. 簡易懸濁法研究会 組織案
4. その他

服薬支援研究会/簡易懸濁法研究会 2019年度事業計画(案)

研究会主催事業

1. 第1回 日本服薬支援研究会／第13回 簡易懸濁法研究会 大会・総会
総会・研修会・ポスター発表・懇親会 開催

日時： 2109年9月28日(土)、29日(日)

場所： 北里大学薬学部

大会長：フローラ薬局 篠原 久仁子

9月28日プログラム 12:30～

- 「合併症を伴う糖尿病患者への服薬支援と糖尿病薬物療法認定制度」
北里大学薬学部・教授/日本くすりと糖尿病学会理事長
厚田 幸一郎 先生
- 「病院における簡易懸濁法を用いた服薬支援～北里大学病院の
取り組み～」
北里大学病院薬剤部 宮坂 優人 先生
- 「嚥下障害のリハビリテーション ～体の栄養、心の栄養～」
原宿リハビリテーション病院 筆頭副院長 稲川 利光 先生
- 「アロマセラピーを用いた服薬支援(アロマ製剤実習)」
湘南ホスピタル 佐藤 玲子 先生、フローラ薬局 篠原 久仁子 先生
- ポスター示説、企業展示
- 総会

9月29日プログラム 9:00～

- 漢方薬による服薬支援
「在宅の訪問栄養管理と漢方薬による服薬支援」
フローラ薬局 篠原 久仁子 先生
- 「がん患者の栄養管理と漢方薬による服薬支援」
芝大門いまづクリニック 今津 嘉宏 先生
共催：松浦薬業株式会社
- ポスター示説、企業展示
- 基調講演
「簡易懸濁法研究会から日本服薬支援研究会へ
薬剤師のソコチカラと将来構想」
日本服薬支援研究会・代表幹事 倉田 なおみ 先生
共催：アボット ジャパン株式会社
- 簡易懸濁法実技セミナー

2. 次回大会

第2回 日本服薬支援研究会／第14回 簡易懸濁法研究会 大会・総会
2020年8月下旬の(土)(日)、神戸(兵庫医療大学薬学部)で開催の予定

大会長 徳島文理大学薬学部 石田志朗

3. 簡易懸濁法研究会主催の実技セミナーの開催

2020年2月23日(日) 神戸(兵庫医療大学薬学部) 予定

4. 服薬支援研究会に関連する事業(部会の活動等)

5. 日本服薬支援研究会/簡易懸濁法研究会会誌の発行(年2回)

6. 簡易懸濁法認定薬剤師、指導薬剤師の輩出

7. 学会報告の会員への一般公募

8. 簡易懸濁法に関するデータの添付文書掲載実現への活動

※インタビューフォームへのデータ掲載が決定!

9. 会員メーリングリストの充実

10. メーリングリストでの未掲載薬品データの公開

11. 簡易懸濁可否情報共有システムへの情報追加

12. 新知見の学会発表

13. 研究結果(学会発表)の論文への投稿

14. 簡易懸濁法に関する学会情報の収集

15. ホームページの充実

16. 学会において服薬支援をテーマにしたシンポジウムの企画・開催 共催事業:

1) 日本病院薬剤師会関東ブロック第49回学術大会 実技セミナー

2019年8月25日、山梨県甲府市、北部市民センター大ホール

2) 第52回日本薬剤師会学術大会(下関)

2019年10月14日(月・祝)9:00~12:00

〈第3会場〉海峡メッセ下関1F展示見本市会場

患者に優しい服薬支援~薬剤師に求められる基礎知識~

3) 第6回簡易懸濁法実技セミナー in 金沢

2020年3月8日(日)、北陸大学薬学部

2019年度 日本服薬支援研究会 収支予算(案)

(2019年7月1日～2020年6月30日)

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目		2018年度	2018年度	2019年度	2018年度	摘要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額	予 算 案	2018年度 予算額との差異	
会費収入		4,659,000	5,081,000	4,396,000	-263,000	
	正 会 員 会 費	3,355,000	3,775,000	3,390,000	35,000	5,000円×678件
	学生会員会費	4,000	6,000	6,000	2,000	2,000円×3件
	賛助会員会費	1,300,000	1,300,000	1,000,000	-300,000	50,000円×20口(10社)
		2,674,500	2,921,500	3,207,000	532,500	
事業収入	講演会費	264,500	196,000		-264,500	
	学術大会・総会費			1,332,000	1,332,000	第1回学術大会予算案の通り(大会補助費40万円除く)
	実技研修会費	2,310,000	2,655,500	1,775,000	-535,000	神戸実技セミナー(主催):20万円(40名,昼食代含む),企業向け実技セミナー(主催):35万円(15名),関東ブロック学術大会実技セミナー(共催):3万円(60名),共催セミナー(全国):認定単位発行19.5万円(45名),資料代:100万円(2,000名)
	認定事業費	100,000	70,000	100,000	0	認定薬剤師受験料5万円(10名),認定指導薬剤師受験料5万円(10名)
その他収入		0	0	0	0	
当期収入合計(A)		7,333,500	8,002,500	7,603,000	269,500	
前期繰越収支差額		4,824,452	4,824,452	4,762,287	-62,165	
収入合計(B)		12,157,952	12,826,952	12,365,287	207,335	

【支出の部】

(単位:円)

勘定科目		2018年度	2018年度	2019年度	2018年度	摘要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額	予 算 案	2018年度 予算額との差異	
事業費支出		3,840,200	4,296,631	3,600,300	-239,900	
	講演会費	503,000	521,854		-503,000	
	学術大会・総会費			1,332,000	0	第1回学術大会予算案の通り(大会補助費40万円除く)
	実技研修会費	2,898,000	3,372,080	1,655,500	-1,242,500	主催セミナー旅費,謝金,昼食代,会場費,資料代(実験器具・医薬品費),研修シール共催セミナー資料代(全国):100万円(2,000名)
	認定事業費	180,000	78,697	250,000	70,000	認定審査会交通費・日当,会議飲食費,認定証発行費用
	簡易懸濁可溶性情報 共有システム保守費	259,200	324,000	262,800	3,600	月額20,000円(税抜),12ヶ月分
	ホームページ改修費用			100,000	100,000	研究会名称変更および認定指導薬剤師募集開始対応
		3,290,600	3,768,034	3,368,550	77,950	
	幹事会・委員会費	536,000	892,500	390,000	-146,000	幹事会(東京単独開催1回):旅費・日当・会議飲食費、ミニ幹事会(3回):会議飲食費
	事務消耗品費	445,000	395,618	475,000	30,000	会報発行(年2回・製本仕様),研究会専用封筒,コピー代等
	通信費	229,600	362,898	372,550	142,950	後納郵便代,宅急便代,メール便代,切手代
	人件費	1,750,000	1,676,457	1,779,000	29,000	毎日学術フォーラム事務委託料,作業委託料,会計士報酬
	租税公課	60,000	97,209	97,000	37,000	源泉徴収税
予備費	原稿料	120,000	78,000	105,000	-15,000	学会参加レポーター(3名),原稿執筆料(3名)
	雑費	150,000	265,352	150,000	0	振込手数料,Peatix手数料,共有システム登録表彰費
	予備費	200,000	0	600,000	400,000	大会補助費40万円,「調剤と情報」別冊購入費20万円
	その他支出	0	0	0	0	
	当期支出合計(C)	7,330,800	8,064,665	7,568,850	238,050	
	当期収支差額(A)-(C)	2,700	-62,165	34,150	31,450	
	次期繰越収支差額(B)-(C)	4,827,152	4,762,287	4,796,437	-30,715	

2019 年度 日本服薬支援研究会/簡易懸濁法研究会 組織（案）

1. 会計部 安藤哲信、藤原 琴、世良庄司、座間味義人
2. 総務部 石田志朗、近藤幸男、新井克明、青木学一、熊木良太
・ 規律委員会 近藤幸男、安藤哲信、世良庄司、倉田なおみ
3. 広報部 ・ 会誌委員会 秋山滋男、岸本 真、寺町ひとみ
・ HP 委員会 世良庄司
4. 学術部 ・ 学術集会委員会 学会開催地幹事、総務部
・ レポーター係り 座間味義人
・ 生涯教育委員会（簡易懸濁法認定制度）
 近藤幸男、天野 学、篠原久仁子、藤原 琴、飯田純一、
 青木学一
・ 調査研究委員会 新井克明、秋山滋男、世良庄司、
 奥石 徹（技術マニュアル）、
 宮本悦子（Q&A）
5. 会計監事 宮本悦子、西園憲郎
6. 事務局 世良庄司、毎日学術フォーラム
 （東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9 階）

アンダーライン：委員長